

広島県「減らそう犯罪」推進会議委員アンケート結果

委 員			ア ン ケ ー ト	
職 名	役 職	氏 名	1. 犯罪を減らすための取組について	2. 犯罪を減らすためのアイデア
県 民	広島県内警察署協議会代表	望 月 利 昭		癌が早期発見で治療する様に、犯罪も早期に摘むことこそ重要と考えます。その意味で地域の力、地域の目こそ大事である。正鵠を獲た取組みと考えます。
県 民	広島県女性医師の会代表	宮 本 博 子	広島市西区鈴が峯町内会では、町内で地元有志による自主防犯パトロール、一家一点灯運動、自宅用防犯カメラを使用した公園の監視、公園内の樹木を見通しを良くするために低く切り込んだり、花を植えるなどの活動を行っている。	「減らそう犯罪通信」は、県内の犯罪情勢や防犯に関する情報を手軽に知ることができ、防犯意識の向上に大変有効だと思う。更に地域を絞った(市版等)通信が出されれば、犯罪に関してより身近に感じることができ、住民の防犯意識も高まると思う。
県 民	(社)広島県消費者協会	中 原 律 子	当協会の広島市内各地では、あいさつ隣り近所での声掛け 広島市東区牛田地区町内会では、防犯ベルの設置(350世帯) 広島市南観音学区では、子ども達の下校時のパトロール(毎月1回)を実施している。	「安全・安心な広島県づくり」のために、県民一人ひとりが今自分にできることを考え行動に移していくことの必要性から、まず、家庭生活の中で家族の団楽の時間を設け、家族間のコミュニケーションをしっかりと、社会的倫理について対話の中から基本をしっかりと醸成すること。地道ではありますが平和な心の育成につながると考えます。
県 民	広島県地域女性団体連絡協議会代表	門 橋 政 子	愛の一声運動を26年間継続している。 家族と一緒に食事をとるように食文化を通して人間形成 子育て支援 本の読み聞かせによるスキんシップ 青少年育成について研修を続けている。	
県 民	JA広島県女性組織協議会代表	富 原 征 子		防犯灯の設置促進 何力所か、願ひ出ている箇所があるが、なかなか設置が実現化しない
県 民	財団法人広島県老人クラブ連合会副会長	高 濱 清 子	東広島市安芸津町寿大学連合会では、安芸津町内で、「詐欺防止と高齢者」と題して、警察署の指導を受けております。(高齢者が詐欺被害に遭わないよう実例を話しながらわかりやすい指導を受ける内容)また、児童生徒の登下校の見守り(月2回各地の街頭にて2名位で街頭にて声かけ実施)。資料配布(被害に遭わないためのアドバイス～住宅リフォーム、クーリングオフ)を行っております。	
県 民	広島大学 学生	瀧 口 雅 子	西条では、大学生と警察官が連携したパトロールを行っており、犯罪の発生と被害防止のため、少年達への声かけ等を行っている。	日常生活の中では当たり前のように思える安全・安心は、豊かな生活のために重要なものだと思う。減らそう犯罪の動きはともよいことだと思うが、大学生の中には浸透していないと感じるので、情報が入ってくる仕組みがもっと発展したらよいと思う。ボランティアなどに積極的に参加できる体制ができたらいと思う。
県 民	安田女子大学 学生	山 本 陽 子	広島市安佐南区では、「減らそう犯罪」安佐南まちづくり協議会が主体となり、店舗内での万引き防止パトロール、無灯火自転車等に対する声かけパトロール、各区分大会・防犯講習会の開催等を行っている。 広島県環境生活部子どもの犯罪被害防止対策プロジェクトチームは、広島県内において、安全マップの作成・講習会を開催している。	私自身、左記の安全マップ講習会の活動に何度か参加して、子どもたち自身が、また大人の方がこういう場所こそが犯罪が、起こりやすいという見方ができるようになることが大切だと思います。そして、地域に住む人たちが犯罪に対して意識を持って、みんなで地域作り、広島県を作っていくことが大切だと思います。そういう活動がますます広がってほしいと思います。
県 民	広島修道大学 学生	田 中 恵 子	大学構内の女性用トイレでの「のぞき」防止のため、トイレドアの上部の空間を板で防ぐ対応が行われている。	空き交番を減らして欲しい。
事 業 者	広島県自動車盗難等防止連絡協議会代表	清 田 博 利		県民個人としては、大多数の人達が被害に遭わないよう個人として可能な範囲で防犯活動への参加・協力を惜しまないものと考えている。 しかしながら、一般的にはどのような活動であれば参加できるのか、どのような活動がなされているのか、具体的に想像できない上、実施されている具体的事例も承知していないのが現状と考えます。(県警察のホームページを閲覧することは思い至らない) そこで、既に実施されている様々な「防犯活動」を網羅した、例えば事例集のような形で、市町を通じて地域の自治会レベルまで活動の様子を伝報し、併せて防犯活動の必要性を説けば、草の根の防犯活動が広がるのではないかと考えます。 一般の県民が防犯活動に参加するには、何らかのきっかけが必要と考えます。

事業者	広島県自動販売協会 中四国支部長	児玉 勝 好	自販機の堅牢化(アラームロック・センサーライト) 現金の早期回収 コンセントカバー(簡単に電気ドリルを使わせない) 防犯ビデオ設置 硬質キーへの交換(ドリルの歯がたたない)	
事業者	広島県住宅地産業五団体 協議会代表	大之木 英雄	(社)広島県住宅地協会のほか住宅5団体のメンバー 企業では、広島県内全域の住宅、マンション建築現場 で、住宅・マンションの防犯装置材料の検討など防犯住 宅への対応を広範に行っている。	
防犯 ボランティア	広島県少年補導協助力連 合会代表	吉川 水 貴	広島西警察署管内少年補導協助力連絡協議会が、 広島市西区佐伯区において、 ・コンビニエンスストアに対する意見交換と店舗回り ・学校、コンビニオーナー、ボランティア、警察の意見交 換連絡会議の設置 ・週末の広島西警察署管内並び市中心部での声かけパ トロール(夜間も含む) を行っている。 NPO法人青少年サポートクラブが広島市西区の中学 校と公民館において、 ・居場所作りとしてのサッカーサークル・交流試合の企画 運営 ・パソコン教室、学習支援、手作り人形教室、映画制作 協力 を行っている。	
防犯 ボランティア	広島県マンション協会理事 長	山下 敏 夫	県下全域において、広島県防犯連合会認定の防犯対 策に配慮したマンションの普及活動はもとより、地域活動 として広島市教育委員会を通じ、広島市立幼稚園に防 犯カメラシステムの寄贈を重点施策としており本年度7 幼稚園に実施している。 今後、2年間で14箇所の市立幼稚園に対し寄贈、3年 間で21箇所に防犯カメラシステムを設置する計画。 「安全・安心なまちづくり」のために取組みを強化しあり ます。	TV、新聞等マスコミ関係各社に対し、県民の防犯 に対する意識づけのPRを行い、協力をしてもらう。 警察官の存在をもっと目立つようにする。
学校・ PTA	広島県公立学校校長会 連合会会長	中川 邦 夫	井口中学校PTA、井口町民代表、井口明神小学校P TAの皆さんが、各活動エリアにおいて、 ・防犯パトロールの実施、 ・毎月町内を数名の方でのパトロールの実施、 ・「安心マン」の服装、ワッペン等のグッズを付けて児童 の安全を学区内で見守り、 ・学校におけるガードボランティア として活動している。	「減らそう犯罪」をアピールするグッズを作って、県 民が買い物や散歩等出かけるときに身に付けて、よく 目立つようにしていると効果があるのではないかと。
国	日本郵政公舎広島監査室	森下 良 満		危険箇所のパトロール強化 暗がりへの街灯の設置
国	広島少年鑑別所	柳田 徹	一般からの非行問題相談に応じている。	
自治 体	広島市	秋葉 忠 利	別紙にて回答	別紙にて回答
自治 体	市長会	山下 三 郎	別紙にて回答	地域では、町内会、自治会、コミュニティ団体、PTA、 老人クラブなどの各種団体が、地区内のパトロール、 小中学生の登下校時の見守り活動を行い、安心で安全 なまちづくりを行っている。市では、県教育委員会 や子ども夢財団からの不審者情報、犯罪情報を関係 団体に周知して注意を呼び掛けているが、効率のよ い情報提供を行うため警察から情報を発信し、地域 に伝達するシステムが望まれる。
自治 体	町村会長	安芸太田町	安芸太田町では、公用車をバトカー仕様にして町内を 巡回したり、本庁・各支所へのメール便として運行してい ます。 山県防犯連合会では、加計商店街・安芸太田町内で 加計小ファンファーレバンドを先頭に市中パレード・町内 車両パレードを実施しています。 加計警察署・安芸太田町・山県東部、西部交通安全 協会・加計安全運転管理者協議会・加計地域交通安全 活動推進委員協議会・防犯連合会では、交通安全・減ら そう犯罪フラッグリレーを行いました。	地域の住民参加による啓発・行動が非常に大切で すが、日常の住民生活の中ですでに取り組んでいる活 動を生かしていけることが重要と考えます。 事例としては、国保ヘルスアップ事業による健康づ くりのための歩く取組みが町内各地域で実践されて おり、この参加者による啓発・巡回が日々地域で継続 できている。新規に事業計画を行う等を求めるのでは なく、既存の団体・グループ活動を活かしていく取組 みが容易に浸透しやすいのではないのでしょうか。

平成17年度「減らそう犯罪」取組アンケート調査

回答者 広島市（市民局市民安全推進室）

1 犯罪を減らすための取組について（主なもの）

どなたが	どの地域で	どんなことを
広島市	内部組織	市民局に市民安全推進室を設置 平成17年4月、安全なまちづくり業務と暴力被害相談業務を一体的に行うこととし、市民局に設置している「暴力被害相談室」を「市民安全推進室」に改組しました。
広島市	市内全域	数値目標の設定 「減らそう犯罪」広島県民総ぐるみ運動に連動し、本市における身近な犯罪を、平成14年を基準として平成17年までの3年間で30%減少させるという目標を設定し、市民、事業者、警察等関係機関と協働して目標達成に取り組んでいます。
広島市	流川・薬研堀地区	流川・薬研堀地区安全なまちづくりの推進 地元、警察と協働して、違法駐車、放置自転車、はみ出し看板などをなくす街頭パトロールを行ってきました。 今年度、この地区の「安全なまちづくりの推進」事業が国の全国都市再生モデル調査の対象に選定されたことを契機に、地元、警察とさらに協働して「防犯対策」と「まちづくり」に取り組んでいます。
広島市		安全なまちづくりに関する基本計画の策定 現在、基本計画策定に向けた骨子となる案を作成中です。「広島市安全なまちづくり推進協議会」や市民の意見を聴きながら、内容を充実させていくことにしています。
広島市（広島県との共同）	安佐南区	減らそう犯罪モデル事業 平成16年度から2年間、市民、地域団体、県警等との協働で、犯罪に強い市民意識づくりに向けたモデル事業を推進し、平成14年を基準に刑法犯認知件数を3割減らすことを目標としています。また、実証された効果的な取組については全市域に普及していきます。
広島市	市内全域（全公民館70館）	公民館と警察との連携による安全なまちづくりの推進 平成17年8月から公民館において、警察と連携しながら、犯罪の発生情報などを掲示するコーナーの設置や防犯教室の共同開催など、地域の拠点施設を生かした安全なまちづくりのための事業を実施しています。

広島市	各区	区民まつり等における安全なまちづくり広報・啓発活動 平成17年度から警察署、防犯組合等と連携し、区民まつり等において防犯コーナーを出展し、安全なまちづくりの広報・啓発を行っています。
広島市（広島県警察との共催）	全市各種団体を対象	犯罪のないまちづくり連絡会議の開催 犯罪のないまちづくりに積極的に取り組んでいる地域団体・職域団体と市行政・警察などが連携し、コミュニティを基盤とした市民ぐるみの運動に展開していくことを目的に、平成5年から毎年1回会議を開催し、防犯に関する講演や地域における先進的な取組等について意見交換をしています。
広島市教育委員会	市内全域	子どもの安全を守るための公用車を活用した取組 平成17年10月から、子どもを犯罪被害から守るための取組として、本市公用車に「みんなで守ろう子どもの安全」と表記したマグネットシートを掲出し、市民への広報・啓発を行っています。
広島市教育委員会	市内全域	学校安全ガードボランティアの導入整備による積極的な活動の展開 平成16年度から、市内の小中学校において、保護者や地域の方々に休憩時間や授業中、校内を見回っていただく学校安全ガードボランティアの導入を進めています。平成17年度末までに全小学校、平成18年度末までに全中学校へ導入することを目指しています。

2 その他、「安全・安心な広島県づくり」のために、犯罪を減らすためのアイデアや「減らそう犯罪」県民総ぐるみ運動への意見・感想等

今後とも、県警と市民、事業者との連携により安全なまちづくりを充実していきたいと考えています。このため、本市においても「減らそう犯罪」広島県民総ぐるみ運動に連動し、「減らそう犯罪」推進会議において設定された目標を来年度以降の数値目標に設定したいと思います。